

付キ責任ヲ負擔スルモノトス
航海ヲ他ノ到達港ニテサントスル決意ヲ實行スルト
キハ兩到達港ニ至ルノ海路未タ分レサルトキト雖直
ニ航海ハ變更シタルモノトス此規定ハ本條ノ第一項
並ニ第二項ノ場合ニ之ヲ適用スルモノトス

第八百十八條 被保險者ニ於テ又ハ被保險者ノ囑託又
ハ承諾ヲ以テ航海ノ起始又ハ完結ヲ不當ニ淹滯シ保
險セラレタル航海ニ應スル海路ニ違ヒ又ハ保險セラ
レタル航海ニ含マレタリト看做スコト能ハサル港ニ
立寄ルトキ又ハ被保險者他ノ方法ヲ以テ危險ノ増大
又ハ變更ヲ生セシムル場合ニ於テ特ニ之ニ關シテナ
シタル特別ノ約束ヲ履行セサルトキ保險者ハ以後ニ

生スル災難ニ付キ責任ヲ負擔セサルモノトス
但此効力ハ左ノ場合ニ於テハ生セサルモノトス

第一 危險ノ増大又ハ變更以後ノ災難ニ影響ヲ及
スコト能ハサリシコトノ判然スルトキ

第二 危險ノ増大又ハ變更ニシテ危險保險者ニ對
シ既ニ始マリタル後危難ニ依リ生シタルトキ但
其危難保險者ニ於テ擔當スヘカラサル危險ニ依
リ生スルトキハ此限ニアラス

第三 船長人タルノ道ニ於テ海路ニ違ハサルヲ得
サルトキ

第八百十九條 契約ヲ取結フノ際船長ヲ指名スルトキ
之ノミニテハ未タ其指名セラレタル船長船舶ノ運用

ヲモナスヘキコトノ約束ヲ包含セサルモノトス

第八百二十條 荷物ノ保險ニアリテハ保險者ハ其運送ヲ運送ニ供シタル船舶ヲ以テナサ、ルトキ及其部分ニ限り一モ災難ニ付キ責任ヲ負擔セサルモノトス但船長ハ危險之ニ對シ始マリタル後被保險者ノ囑託及承諾ナクシテ運送ニ供シタル船舶ヲ以テスルヨリ他ノ方法ニテ荷物ヲ運送スルトキ又ハ保險者ニ於テ擔當スヘカラサル危險ニ依リ災難ノ生スル場合ヲ除クノ外災難ノ爲メ其運送ヲナストキハ契約ニ依リ責任ヲ負擔スルモノトス

第八百二十一條 一船舶又ハ數船舶ヲ指名スルコトナクシテ不定又ハ不指名ノ船舶ヲ以テナス荷物ノ保險

ニアリテハ被保險者ハ保險セラレタル荷物ヲ何レノ船舶ニ引渡シタルヤノ通知ヲ受ケタルトキ直ニ此通知ヲ保險者ニナスヘキモノトス

此義務ヲ履行セサル場合ニ於テハ保險者ハ其引渡シタル荷物ノ被ル災難ニ付キ一モ責任ヲ負擔スルコトナキモノトス

第八百二十二條 各災難ハ保險依頼人又ハ保險ヲ知リシタル被保險者ニ於テ災難ノ通知ヲ得ルトキ直ニ之ヲ保險者ニ告知スヘキモノトス之ニ違フトキ保險者ハ遅延ナク告知ヲ受ケタルニ於テハ減スルヲ得ヘカリシ額ヲ損害賠償ノ額ヨリ引去ルノ權アルモノトス

第八百二十三條 被保險者ハ災難ノ生ズルトキ保險セ

ラレタル物件ヲ救助シ并ニ大損害ヲ避ル爲メ成ルヘク盡力スルノ義務アルモノトス
但被保險者ハ成ルヘク必要ナル處分ニ付キ豫メ保險者ト談合スヘキモノトス

第四節 危險ノ範圍

第八百二十四條 保險者ハ保險ノ繼續スル間ハ船舶又ハ積荷ノ被リ易キ總テノ危險ヲ擔當スルモノトス但以下數條ノ規定又ハ契約ニ於テ別段ノ定メアルトキハ此限ニアラス

保險者ハ特ニ左ノ危險ヲ擔當スルモノトス

第一 海水浸入、海濱乗上、破船、沈没、火難、爆發、電火、地震、氷塊ニ依テノ損傷等ノ如キ天災及其他海難ノ危

險但海難ノ危險ハ他人ノ過失ニ出ルトキ亦同シ

第二 戰爭及政府ノ命令ニ於ケル危險

第三 他人ノ申立ニ依リ被保險者ノ過失ニアラスシテ受ケタル差押

第四 竊盜并ニ海賊、掠奪及其他暴行ノ危險

第五 保險セラレタル荷物ヲ航海ヲ繼續スル爲メ書入スルノ危險又ハ同一ノ目的ノ爲メ賣却又ハ

支出シテ其荷物ニ付キ處分スルノ危險(第五百七條ヨリ第五百十條マテ及第七百三十四條)

第六 船舶乗組員ノ不良心又ハ過失ノ危險但之カ爲メ保險セラレタル物件ニ損害ヲ生スルトキニ限ル

第七 船舶衝突ノ危険但被保險者衝突ニ依リ直接ニ損害ヲ被ルト又ハ他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スヘキニ依リ間接ニ損害ヲ被ルトヲ區別セサルモノトス

第八百二十五條 左ニ掲ル損害ハ保險者ノ責ニ歸セサルモノトス

第一 船舶又ハ運賃ノ保險ニアリテハ

船舶航海ニ堪ヘサル狀況ニ於テ出航シ又ハ船舶ニ相當ノ機裝ヲナサス又ハ乗組員ヲ備ヘス又ハ必要ナル證書ナク(第四百八十條)シテ出航シタルニ依リ生スル損害
船舶衝突ノ場合ヲ除クノ外船主ニ於テ船舶

乗組員ノ他人ニ加ヘタル損害ニ付キ責任ヲ負擔スヘキ(第四百五十一條及第四百五十二條)ニ依リ生スル損害

第二 船舶ニ關スル保險ニアリテハ

單ニ通常ノ使用ニ於テ船舶ヲ損耗シタルニ依テ生スル船舶及附屬品ノ損害
古敗腐朽又ハ蠹蝕ニ依テ生スル船舶及附屬品ノ損害

第三 荷物又ハ運賃ニ關スル保險ニアリテハ荷物

ノ性質特ニ内部ノ損敗揮散通常ノ漏出等ニ依リ又ハ荷物ノ不充分ナル外包又ハ鼯鼠ニ依リ生スル損害但保險者ノ責ニ歸スル災難

ニ依リ非常ニ航海ヲ淹滞スルトキ保險者ハ
本項ニ掲ケタル損害ニシテ淹滞ノ爲メ生ス
ルモノヲ賠償スヘキモノトス

第四

被保險者ノ過失ニ依テ生スル損害及荷物又
ハ想像利益ノ保險ニアリテハ荷物引渡人荷
物受取人又ハ荷物宰領其資格ニ於テ負擔ス
ヘキ過失ヨリ生スル損害

第八百二十六條

損害ヲ賠償スヘキ保險者ノ義務ハ被
保險者ニ於テ船長又ハ其他人ニ對シ其補償ヲ請求ス
ルノ權アルトキト雖生スルモノトス被保險者ハ損害
ノ賠償ニ付キ先ツ保險者ニ請求スルコトヲ得但被保
險者ハ其請求ノ實行ニ効驗アラシムル爲メ保險者ニ

必要ノ補助ヲナシ亦運賃ヲ留置シ船舶ヲ差押テ請求
ヲ安全ナラシメ又ハ其他ノ方法ヲ以テ保險者ノ費用
ニテ狀況ニ應スル注意ヲナスヘキモノトス(第八百二
十三條)

第八百二十七條

航海ノ爲メ船舶ヲ保險シタルトキ保
險者ノ危険ハ積荷又ハ底積ノ領收ヲ始ル時限ヲ以テ
始マリ又ハ積荷及底積ノ領收ヲナサ、ルトキハ船舶
出航ノ時限ヲ以テ始マルモノトス航海ハ到達港ニ於
テ積荷又ハ底積ノ荷卸ヲ終リタル時限ヲ以テ終ルモ
ノトス

被保險者ニ於テ非常ニ荷卸ヲ淹滞スルトキハ危険ハ
其淹滞ナカリシ場合ニ於テ荷卸ノ終ルヘキ時限ヲ以

テ終ルモノトス
荷卸ヲ終ル前ニ於テ新航海ノ爲メ積荷又ハ底積ヲ領
收スルトキ危険ハ其積荷又ハ底積ノ領收ヲ始ル時限
ヲ以テ終ルモノトス

第八百二十八條 荷物想像利益又ハ船積シタル荷物ヨ
リ得ヘキ手数料ヲ保險シタルトキ危険ハ船舶又ハ舩
船ニ積積ノ爲メ荷物ヲ陸ヨリ離シタル時限ヲ以テ始
マリ到達港ニ於テ荷物ヲ再ビ陸ニ上ケタル時限ヲ以
テ終ルモノトス

荷卸被保險者ニ於テ非常ニ淹滞シ又ハ荷物又ハ想
像利益ノ保險ニアリテハ荷卸被保險者又ハ第八百
二十五條ノ第四項ニ掲ゲタル人ニ於テ非常ニ淹滞ス

ルトキ危険ハ其淹滞ナキ場合ニ於テ荷卸ノ終ルヘキ
時限ヲ以テ終ルモノトス

荷積及荷卸ノ際保險者ハ舩船ノ其地慣例上使用ノ危
險ヲ擔當スルモノトス

第八百二十九條 運賃ノ保險ニアリテハ危険船舶及之
カ爲メ運賃ノ被リ易キ災難ニ付キ同一ノ航海ニ於ケ
ル保險ニアリテ危険ノ始マリ及終ルヘキ同一ノ時限
ヲ以テ始マリ及終リ又荷物及之カ爲メ運賃ノ被リ易
キ災難ニ付テハ同一ノ航海ニ於ケル荷物ノ保險ニア
リテ危険ノ始マリ及終ルヘキト同一ノ時限ヲ以テ始
マリ及終ルモノトス
渡航賃ノ保險ニアリテ危険ハ船舶ノ保險ニアリテ危

險ノ始マリ及終ルヘキト同一ノ時限ヲ以テ始マリ及終ルモノトス

運賃及渡航賃ノ保險者ハ船舶ニ罹ル危難ニ付テハ運送契約又ハ渡航契約ヲ取結ヒタルトキニ限り責任ヲ負擔シ及船主自己ノ計算ヲ以テ荷物ヲ船積スルトキハ船舶又ハ舢舨船ニ積込ム爲メ荷物ヲ既ニ陸ヨリ離シタルトキニ限り責任ヲ負擔スルモノトス

第八百三十條 船舶書入金及海難損失金ノ保險ニアリテ危險ハ其金額ヲ交付シタル時限ヲ以テ始マリ又被保險者自ラ海難損失金ヲ交付シタルトキハ其金額ヲ支出シタル時限ヲ以テ始マリ書入シタル物件又ハ海難損失金ヲ支出シタル物件ノ保險ニアリテ終ルヘキ

時限ヲ以テ終ルモノトス

第八百三十一條 既ニ始マリタル危險ハ保險者ニ對シ契約時間又ハ保險シタル航海中間斷ナク繼續スルモノトス保險者ハ特ニ避難港又ハ中間港ニ於ケル碇泊中ノ危險ヲモ負擔シ及往航及復航ニ付テノ保險ノ場合ニ於テハ往航ノ到達港ニ於ケル船舶碇泊中ノ危險ヲモ負擔スルモノトス
荷物ヲ一時荷卸スヘキトキ又ハ修復ノ爲メ船舶ヲ陸ニ上ルトキ保險者ハ荷物又ハ船舶ノ陸ニ存スル間ノ危險ヲモ負擔スルモノトス

第八百三十二條 危險ノ始マリタル後保險シタル航海ヲ任意ヲ以テ又ハ己ムヲ得ス航海ヲ止ルトキ危險ノ

終リニ關シテハ航海ヲ終ル港到達港ニ代ハルモノトス

船舶ノ航海ヲ止メタル後運送ニ供シタル船舶ヲ以テスルヨリ他ノ方法ニテ荷物ヲ到達港ニ運送スルトキ其荷物ニ關シ始マリタル危険ハ運送ノ全部又ハ一部ヲ陸ニテナストキト雖繼續スルモノトス此場合ニ於テ保險者ハ同時ニ期ヲ早メタル荷卸ノ費用一時藏入ノ費用及陸ニテナストキト雖運送ノ増費ヲ負擔スルモノトス

第八百三十三條 第八百三十一條及第八百三十二條ハ

第八百十八條及第八百二十條ニ掲ケタル規定ニ牴觸セサル限りハ之ヲ適用スルモノトス

第八百三十四條 保險ノ期限ヲ日、週、月又ハ年ニ依テ定メタルトキ其時間ハ曆ニ從ヒ及其日ハ夜半ヨリ夜半マテニ計算スルモノトス保險者ハ初日及終日ノ危険ヲ負擔スルモノトス
時間ヲ計算スルノ際ニハ船舶ノ碇泊スル地標準トナルモノトス

第八百三十五條 船舶ノ定期保險ノ場合ニ於テ契約ニ定メタル保險期限ノ終ル際船舶途中ニアルトキ保險ハ反對ノ契約ナキトキニ限り最近ノ到達港ニ船舶ノ到着スルマテ之ヲ延期シタルモノト看做シ及此到達港ニ於テ荷物ヲ荷卸スル場合ニ於テハ其荷卸ヲ終ルマテ(第八百二十七條)之ヲ延期シタルモノト看做スモ

ノトス但被保險者ハ船舶途中ニアラサル間ハ保險者ニ通知スヘキ陳述ヲ以テ其延期ヲ禁スルノ權アルモノトス
 延期ノ場合ニ於テ被保險者ハ其期限ニ付キ契約上ノ定期保險料ヲ繼續シテ支拂ヒ及船舶ノ失踪シタルトキハ其失踪期限ノ經過ヲ終ルマテ契約上ノ定期保險料ヲ繼續シテ支拂フヘキモノトス
 延期ヲ禁シタル場合ニ於テ保險者ハ失踪期限保險期限ヲ超ルトキ其失踪ニ依リ請求ヲ受ルコトナキモノトス

第八百三十六條 數港中此港又ハ他港ニ達スル航海ノ保險ニアリテハ其港ノ一ヲ撰定スルノ權ヲ被保險者ニ與ルモノトス此港及他港又ハ一港及他ノ數港ニ

達スル航海ノ保險ニアリテ被保險者ハ其各港ニ達スルマテ其權ヲ有スルモノトス

第八百三十七條 數港ニ達スル航海ノ保險契約ヲ取結ビ又ハ數港ニ立寄ルノ權ヲ被保險者ニ與ヘタルトキハ被保險者ハ單ニ契約上ノ順序又ハ其契約ナキ場合ニ於テハ航海ノ狀況ニ相當スル順序ニ從ヒ其港ニ達スルノ權ヲ有スルモノトス但其各港ニ達スルノ義務ヲ有セス

保險證書ニ掲ケタル順序ハ別段ノ定メ判然セザルトキニ限り之ヲ契約シタルモノト看做スモノトス

第八百三十八條 左ニ掲ルモノハ保險者ノ負擔ニ歸ス

ルモノトス

第一 海難大損失ノ出金及被保險者自ラ被リタル損害ニ付キ負擔スヘキ出金第六百三十七條及第七百三十四條ニ從ヒ海難大損失ノ原則ニ依テ判定スヘキ出金ハ海難大損失ノ出金ト同視ス

第二 荷物特ニ船主ノ荷物ヨリ他ノ荷物ヲ船舶ニ存シタルトキハ海難大損失ニ屬スヘキ投棄

第三 其他大損害ヲ救助シ又ハ防止スル爲メ已ムヲ得ス又ハ便宜上支出シタル費用(第八百二十三條)但其ナシタル處分効ナキトキ亦同シ

第四 保險者ノ負擔ニ歸スル損害ヲ檢出及確定スル爲メ必要ナル費用特ニ檢視、評定、賣却及海難損

失計算書調製ノ費用

第八百三十九條 海難大損失ノ出金及海難大損失ノ原則ニ依テ判定スヘキ出金ニ關シテハ保險者ノ義務ハ内國又ハ外國ニ於ケル相當ノ地ニ於テ計算スル地ニ行ハル、法律ニ準據シテ作りタル計算書ニ依テ定マルモノトス特ニ海難大損失ニ屬スル損害ヲ被リタル被保險者ハ保險者ニ對シ海難損失計算書ニ計算シタル損害ヨリ多額ヲ要求スルノ權ナキモノトス又保險者ハ特ニ保險價額ヲ標準トスルコトナクシテ其損害ノ全額ニ付キ責任ヲ負擔スルモノトス

亦被保險者ハ計算スル地ニ行ハル、法律ニ從ヒ其損害ヲ海難大損失ト看做スヘカラサルトキハ保險者ニ

對シ他ノ法律特ニ保險地ノ法律ニ從ヒ其損害ノ海難大損失ナルノ理由ヲ以テ損害賠償ヲ要求スルコトヲ得ス

第八百四十條 但保險者ハ前條ニ掲ケタル出金ニ付キ保險契約ニ從ヒ自己ノ責ニ歸セサル災難ニ依リ生スルモノニ限リ責任ヲ負擔セサルモノトス

第八百四十一條 法律又ハ慣例ニ依リ其任アル人海難損失計算書ヲ調製シタルトキ保險者ハ計算スル地ニ行ナハル、法律及之ニ依テ被保險者ノ被リタル損害ト相當スルカ爲メ其計算書ニ對スル不服ヲ唱フルコトヲ得ス但被保險者ニ於テ自己ノ權利ヲ保護セサルニ依リ損害ヲ被リタルノ過失アルトキハ此限ニアラ

ス

但被保險者ハ自己ノ損害ニ依リ利益ヲ受ケタル者ニ對スル請求ヲ保險者ニ讓渡スノ義務アルモノトス之ニ反シテ保險者ハ何レノ場合ニ於テモ被保險者ニ對シ被保險者自己ニ被リタル損害ニシテ海難損失計算書ヲ作ル地ニ行ハル、法律ニ從ヒ辨償ヲ受クヘカヲサリシモ海難大損失トシテ論セラレタルモノニ限リ其計算書ニ付キ不服ヲ唱フルノ權アルモノトス
第八百四十二條 被保險者ノ被リタル海難大損失ニ屬スル損害又ハ海難大損失ノ原則ニ從テ判定スヘキ損害ニ付キ保險者ハ損害ノ確定及分配ヲ目的トスル正當ノ手續ヲ開始シタルトキハ被保險者自己ニ受クヘ

キ補償ヲ正當ニナスコトヲ得シ訴訟ヲ以テモ亦得ル
コト能ハサリシ部分ニ限り之ニ對シ支拂フヘキ出金
ニ付キ責任ヲ負擔スルモノトス

第八百四十三條 被保險者ノ過失ナクシテ手續ヲナサ
、リシトキ被保險者ハ全損失ニ付キ保險契約ニ從ヒ
直接ニ保險者ニ對シ請求スルコトヲ得

第八百四十四條 保險者ハ保險額ニ至ルマテニ限り損
害ニ付キ責任ヲ負擔スルモノトス

但保險者ハ支拂フヘキ補償ノ全額保險額ヲ超過スル
トキト雖第八百三十八條第三項及第四項ニ掲ケタル
費用ヲ全ク辨償スヘキモノトス

災難ノ爲メ前項ノ費用ヲ既ニ支出シ例ヘハ買戻費用

又ハ取戻費用ヲ交付シタルトキ又ハ災難ニ依テ損傷
シタル物件ヲ回復又ハ修繕スル爲メ既ニ支出ヲナシ
例ヘハ之カ爲メ海難損失金ヲ交付シタルトキ又ハ被
保險者ヨリ海難大損失ノ出金ヲ既ニ支拂フタルトキ
又ハ其出金ヲ支拂フヘキ被保險者一身上ノ義務ヲ生
シタルトキニシテ後日更ニ災難ノ生スルトキ保險者
ハ後日ノ災難ニ依テ生スル損害ニ付テハ自己ノ責ニ
歸スル以前ノ支出及出金ニ拘ハラズ保險全額ニ至ル
マテ責任ヲ負擔スルモノトス

第八百四十五條 保險者ハ災難ノ始マリタル後保險全
額ヲ支拂ヒ保險契約ヨリ生スル總テノ其他ノ義務特
ニ保險セラレタル物件ヲ救助維持及回復スル爲メ必

要ナル費用ヲ辨償スヘキ義務ヲ免カル、ノ權アルモ
 ノトス
 災難ノ始マルトキ保險セラレタル物件ノ一部保險者
 ノ負擔スヘキ危險ヲ既ニ免カレタルトキ本條ノ權利
 ナ施用スル保險者ハ保險額ノ此一部ニ歸スル部分ヲ
 支拂フコトヲ要セス
 保險者ハ保險額ヲ支拂フニ依リ保險セラレタル物件
 ニ付キ請求權ヲ得サルモノトス
 保險額ヲ支拂フタルモ保險者ハ其權利ヲ施用スルノ
 陳述被保險者ニ達スル前ニ於テ保險セラレタル物件
 ノ救助維持又ハ回復ノ爲メ支出シタル費用ヲ辨償ス
 ルノ義務ヲ有スルモノトス

第八百四十六條 保險者ハ被保險者ニ於テ災難ノ性質
 及直接ノ結果ノミナラス總テ其他災難ニ關スル狀況
 ニシテ其知了シタルモノヲ保險者ニ告知シタル日ノ
 經過後遅クトモ第三日ニ第八百四十五條ノ權利ヲ施
 用セント欲スル決意ヲ被保險者ニ陳述スヘキモノト
 ス其陳述ヲナサ、ルトキハ其權利ヲ失フモノトス
 第八百四十七條 全價額ヲ保險セサル場合ニ於テ保險
 者ハ第八百三十八條第一項ヨリ第四項マテニ掲ケタ
 ル出金、投棄及費用ニ付キ保險價額ニ對スル保險額ノ
 割合ニ依テノミ責任ヲ負擔スルモノトス
 第八百四十八條 損害ヲ賠償スヘキ保險者ノ義務ハ後
 日保險者ノ負擔ニ歸セサル危險ニ依リ新ナル損害ノ

ミナラス全部喪失ヲ生スルモ之カ爲メ更ニ廢止又變更セラレサルモノトス

第八百四十九條 海難各部損失ニシテ其損害ノ檢出及確定ノ費用(第八百三十八條第四)ヲ除キ保險價額百分三ヲ超ヘサルトキ保險者ハ之ヲ賠償スルヲ要セス百分三ヲ超ルトキハ其百分三ヲ引去ルコトナクシテ之ヲ補償スヘキモノトス

船舶ヲ定期ヲ以テ又ハ數航海ノ爲メ保險シタルトキ其百分三ハ各個ノ航海ニ付キ計算スヘキモノトス航海ノ意義ハ第七百六十條ノ規定ニ依テ定マルモノトス

第八百五十條 第八百三十八條第一ヨリ第三マテニ掲

ケタル出金投棄及費用ハ保險價額百分三ニ達セサルトキト雖亦保險者之ヲ賠償スヘキモノトス但第八百四十九條ニ掲ケタル百分三ヲ檢出スルノ際之ヲ算入セサルモノトス

第八百五十一條 保險者ニ於テ一定ノ百分ノ幾部ニ付キ義務ヲ免カルヘキコトヲ契約シタルトキハ第八百四十九條及第八百五十條ノ規定ヲ適用スルモノトス但此兩條ニ掲ケタル百分ノ三ニ代ルモノハ契約ニ掲ケタル百分ノ幾部ナリトス

第八百五十二條 保險者ニ於テ戰爭ノ危險ヲ擔當セサルコト亦其他ノ危險ニ關スル保險ハ戰爭ノ妨碍ヲ生スルマテニ限り繼續スヘキコトヲ契約シタルトキ(其

契約ハ特ニ「不保戰爭妨碍」ノ制限ヲ以テ取結ヒタルト
キ存スルモノト看做ス。危險ハ保險者ニ對シ戰爭ノ危
險始メテ航海ニ影響ヲ及ボス時限特ニ航海ノ起始又
ハ繼續軍艦奪掠船又ハ鎖港ノ爲メ妨碍セラレ又ハ戰
争ノ危險ヲ避ル爲メ淹滞セラル、トキ又ハ此事由ニ
依リ船舶其海路ニ違フトキ又ハ戰爭ノ妨碍ニ依リ船
長船舶ノ自由ナル運用ヲ失フトキ終ルモノトス

第八百五十三條 保險者ニ於テ戰爭ノ危險ヲ擔當セザ
ルモ總テ其他ノ危險ヲ戰爭妨害ノ始マリタル後ニモ
尙ホ擔當スヘキコトヲ契約シタルトキ其契約ハ特ニ
「海難ニ限ル」ノ制限ヲ以テ取結ヒタルトキ存スルモノ
ト看做ス。危險ハ保險者ニ對シ保險セラレタル物件ヲ

奪掠スルノ裁判言渡ヲ以テ始メテ終ハリ又戰爭ノ危
險ヲ取除カサリシ場合ニ於テ其危險ノ終リタルトキ
直ニ終ルモノトス但保險者ハ戰爭ノ危險ニ依テ直接
ニ生シタル損害特ニ左ニ掲ルモノニ付キ責任ヲ負擔
セサルモノトス

交戰國ノナス没收

軍艦及掠奪船ノナス押取損傷破毀及掠奪

留置及取戻ヨリ生スル費用、碇泊港ノ閉鎖又ハ閉鎖
セラレタル港ヨリ退斥セラル、ニ依テ生スル費用
又ハ戰爭ノ危險ノ爲メ任意碇泊スルニ依テ生スル
費用

前項ノ碇泊ニ依テ生スル結果即チ荷物ノ損敗及滅

少、荷物ノ荷卸及藏入ノ費用及危険并ニ荷物運送ノ費用

疑シキ場合ニ於テハ其生シタル損害ハ戦争ノ危険ニ依テ生シタルモノニアラスト看做スモノトス

第八百五十四條 契約ヲ到着マテ擔保ノ制限ヲ以テ取結ヒタルトキ危険ハ保險者ニ對シ船舶到達港ニ於テ慣例上又ハ相當ノ場所ニ投錨シ又ハ碇繫シタル時限ヲ以テ終ルモノトス

亦保險者ハ左ノ場合ニ限り其責任ヲ擔當スルモノトス

第一 船舶ニ關スル保險ニアリテハ其全部喪失ノ生スルトキ又ハ船舶ヲ放讓スルトキ(第八百六十

五條)又ハ災難ニ依リ到達港ニ達スル前ニ於テ修復不能又ハ修復無益ノ爲メ賣却スルトキ(第八百七十七條)

第二 荷物ニ關スル保險ニアリテハ荷物ノ全部又ハ一部災難ニ依リ到着港ニ達セサルトキ特ニ到達港ニ達スル前ニ於テ災難ノ爲メ其荷物ヲ賣却スルトキ但荷物到達港ニ達スルトキ保險者ハ損傷及之カ爲メ生スル喪失ニ付キ責任ヲ負擔セサルモノトス

其他保險者ハ如何ナル場合ニ於テモ亦第八百三十八條第一ヨリ第四マテニ掲ケタル出金、投棄及費用ヲ擔當セサルモノトス

第八百五十五條 契約ヲ海濱乗上ヲ除クノ外損傷不保
 ノ制限ヲ以テ取結ヒタルトキ保險者ハ損傷ニ依テ生
 シタル損害ニ付テハ其損害價額減少ニアルト又ハ全
 部又ハ一部ノ喪失ニアルトヲ問ハス及特ニ保險セラ
 レタル荷物ノ全部損敗シ原品質毀傷セラレテ到達港
 ニ達スルニアルト又ハ航海中損傷及切迫ナル損敗ノ
 爲メ賣却セラレタルニアルトヲ問ハス保險セラレタ
 ル荷物ノ存スル船舶又ハ舢舨船海濱ニ乗上タル場合ヲ
 除クノ外責任ヲ負擔スルモノトス轉動沈没船体ノ破
 碎潰裂及船舶又ハ舢舨船ヲ修復不能ニ至ラシメタル各
 海難ハ之ヲ海濱乗上ト同視スルモノトス
 海濱乗上又ハ之ト同視スヘキ他ノ海難ノ生シタルト

キ保險者ハ百分三ヲ超ル第八百四十九條各損傷ニシ
 テ其海難ニ依テ生シタルモノニ付キ責任ヲ負擔スル
 モ其他ノ損傷ニ付テハ責任ヲ負擔セサルモノトス反
 對ノ證據アルニアルマテハ其海難ニ依テ生スルコト
 アル損傷ハ之ニ依テ生シタルモノト推測スルモノト
 ス
 損傷ニ依テ生シタルアラサル各損害ニ付キ保險者ハ
 海濱乗上又ハ其他本條ニ記載シタル海難ノ生シタル
 ト否トヲ問ハス制限ナキ契約ヲ取結ヒタリシトキト
 同一ニ責任ヲ負擔スルモノトス保險者ハ必ス第八百
 三十八條第一第二及第四ニ掲ケタル出金投棄及費用
 ニ付テハ必ス責任ヲ負擔スルモ同條第三ニ掲ケタル

費用ニ付テハ自己ノ責ニ歸スル喪失ヲ避ル爲メ支出シタルトキニ限り責任ヲ負擔スルモノトス
自然火ヲ發シタルニアラサルコトノ判然スル場合ニ於テ失火又ハ其消防ニ依リ又ハ炮發ニ依リ生シタル損傷ハ保險者ニ於テ契約制限ヲ以テ其義務ヲ免カル、損傷ト看做サ、ルモノトス

第八百五十六條 契約ヲ海濱乗上ヲ除クノ外破碎不保ノ制限ヲ以テ取結ヒタルトキハ前條ノ規定ヲ適用スルモノトス但保險者ハ破碎ニ付テハ前條ニ從ヒ損傷ニ付キ責任ヲ負擔スル部分ニ限り責任ヲ負擔スルモノトス

第八百五十七條 第八百五十五條及第八百五十六條ニ謂ヘル海濱乗上トハ航海ノ非常ノ狀況ニ依リ海底ニ固着シタル場合ナリトス即チ再ヒ動カサルトキ又ハ再ヒ動クモ左ノ場合ナルトキ

第一 檣ノ截斷積荷ノ一部ノ投棄又ハ荷卸等ノ如キ非常ノ處分ヲ施シ又ハ非常ノ滿潮アルトキニ限り動クモ錨ニテ卷寄せ又ハ帆ヲ逆ニ舉ル等ノ如キ通常ノ處分ノミニテハ動カサルトキ

第二 船舶海底ニ固着シタルニ依リ船体ニ大ナル損害ヲ被リタル後始メテ動クトキ

第五節 損害ノ範圍

第八百五十八條 船舶又ハ荷物ノ全部喪失ハ船舶又ハ荷物沈没スルトキ又ハ被保險者ニ於テ之ヲ失ヒ再ヒ

得ルノ望絶ヘタルトキ特ニ沈没シテ救助ノ見込ナキ
トキ又ハ原品質ヲ毀傷セラレタルトキ又ハ分取物ト
シテ言渡サレタルトキ存スルモノトス船舶ノ全部喪
失ハ破船又ハ財産ノ一部ヲ救助シタルモ之カ爲メ變
更ヲ受ルコトナキモノトス

第八百五十九條 運賃ノ全部喪失ハ運賃全額ヲ喪失シ
タルトキ存スルモノトス

第八百六十條 荷物ノ到達港ニ達スルニ依リ豫期スル
想像利益又ハ手数料ノ全部喪失ハ荷物ノ到達港ニ達
セサルトキ存スルモノトス

第八百六十一條 船舶書入金及海難損失金ノ全部喪失
ハ書入セラレ又ハ損失金ヲ交付セラレタル物件全部

喪失又ハ其他ノ災難ニ罹リタルニ依リ生シタル損傷
船舶書入又ハ其他ノ負擔ノ爲メ其金額ニ充ルモ殘在
セサルトキ存スルモノトス

第八百六十二條 全部喪失ノ場合ニ於テ保險者ハ保險
全額ヲ支拂フヘキモノトス但第八百四條ノ規定ニ從
ヒ引去ルヘキモノアルトキハ之ヲ引去ルノ妨ケトナ
ラサルモノトス

第八百六十三條 全部喪失ノ場合ニ於テ保險額ヲ支拂
フ前ニ救助シタルモノアルトキ其救助物ノ賣得金ハ
之ヲ保險額ヨリ引去ルモノトス全價額ヲ保險セザリ
シトキハ救助物ノ割合部分ノミヲ保險額ヨリ引去ル
モノトス

保險額ノ支拂ト共ニ保險セラレタル物件ニ付テノ被
保險者ノ權利ハ保險者ニ移轉スルモノトス
保險額ヲ支拂フタル後始メテ全部又ハ一部ノ救助ヲ
ナストキ保險者ニ限り其支拂後ニ救助シタルモノヲ
請求スルノ權ヲ有スルモノトス全價額ヲ保險セサリ
シトキ保險者ハ救助物ノ割合部分ノミヲ得ルモノト
ス

第八百六十四條 想像利益ノ全部喪失(第八百六十條)ニ
アリテ荷物ヲ航海中ニ賣却シ其賣得純金荷物ノ保險
價額ヲ超ルトキ又ハ海難大損失ノ場合ニ於テ荷物ヲ
投棄シ又ハ第六百十二條及第六百十三條ノ規定ニ從
テ喪失ノ爲メ賠償ヲ支拂フヘキ場合ニ於テ荷物ノ爲

メ保險價額ヲ超ル補償ヲ得ルトキハ想像利益ノ保險
額ヨリ其剩餘額ヲ引去ルモノトス

第八百六十五條 被保險者ハ左ノ場合ニ於テ保險セラ
レタル物件ニ關シ自己ニ歸スル權利ヲ讓渡シテ(放讓
保險全額ノ支拂ヲ求ルノ權アルモノトス

第一 船舶失踪シタルトキ

第二 船舶又ハ荷物留置セラレ、交戰國ヨリ押取セ

ラレ又ハ他ノ方法ニ依リ政府ノ處分ヲ以テ留置
セラレ又ハ海賊ニ掠奪セラレ及左ノ地ニ於テ押
取留置又ハ掠奪セラレタルノ區別ニ從ヒ六月九
月又ハ十二月間ニ放免セラレサルニ依リ保險ノ
物件ニ危險ヲ生スルトキ

一 歐洲内ノ港又ハ歐洲内ノ海又ハ歐洲外ナル地中海、黒海又ハ「アツオウ」海ノ地

二 其他ノ海但喜望峯及「カッパホルン」以西ニ限ル

三 「喜望峯」又ハ「カッパホルン」以東ノ海

此期限ハ保險者ニ於テ被保險者ヨリ災難ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算スルモノトズ(第八百

二十二條)

第八百六十六條 航海ヲ始メタル船舶失踪期限内ニ到

達港ニ達セス及其期限内關係者ニ其船舶ニ付キ一モ

通知ノ達セサリシトキ失踪シタリト看做スヘキモノ

トス

失踪期限ハ左ノ期限ナリトス

第一 出發港及到達港歐洲内ノ港ナルトキハ帆走

船ニアリテハ六月、氣船ニアリテハ四月

第二 出發港又ハ到達港ノ一歐洲外ノ港ナル場合

ニ於テハ其港喜望峯及「カッパホルン」以西ニア

ルトキハ帆走船及氣船ヲ問ハス九月、其一港喜望

峯又ハ「カッパホルン」以東ニアルトキハ帆走船

及氣船ヲ問ハス十二月

第三 出發港及到達港歐洲外ノ港ナルトキハ航海

ノ平均日數二月又ハ三月ヲ超ヘス又ハ三月ヲ超

ルノ區別ニ從ヒ帆走船及氣船ヲ問ハス六月、九月

又ハ十二月

疑シキ場合ニ於テハ平均日數ヨリ長キ期限間待ツヘキモノトス

第八百六十七條 失踪期限ハ船舶航海ヲ始メタル日ヨリ起算スルモノトス但其出發以來船舶ニ付キ通知ノ達シタルトキハ確カナル通知ニ從ヒ最後ニ存在シタル地ヨリ船舶ノ出發シタルヘカリシ場合ニ於テ標準トナルヘキ期限ハ最後ノ通知ヲ發シタル日ヨリ起算スルモノトス

第八百六十八條 放讓供述ハ放讓期限内ニ保險者ヘ達スヘキモノトス

放讓期限ハ失踪ノ場合第八百六十五條第一ニ於テ到達港歐洲内ノ港ナルトキ及押取留置又ハ掠奪ノ場合

(第八百六十五條第二)ニ於テ歐洲内ノ港又ハ歐洲内ノ海又ハ歐洲外ノ地中海、黑海又ハ「アツオウ」海ノ地ニテ災難ノ生シタルトキハ六月其他ノ場合ニ於テハ九月ナリトス此期限ハ第八百六十五條及第八百六十六條ニ掲ケタル期限ノ經過ヲ以テ始マルモノトス

複保險ニアリテ放讓期限ハ被保險者ヨリ複被保險者ニ放讓ヲ供述シタル日ノ經過ヲ以テ始マルモノトス

第八百六十九條 放讓期限ノ經過シタル後ハ放讓ヲナスコトヲ許サス但他ノ原則ニ從ヒ損害ノ補償ヲ請求スル被保險者ノ權利ハ之カ爲メ害セララル、コトナキモノトス

船舶失踪ノ場合ニ於テ放讓期限ヲ懈怠シタルトキ被

保險者ハ全部損害ノ賠償ヲ要求スルコトヲ得ルモノトス但保險セラレタル物件再ヒ現出シ及全部喪失ヲ生セサルコトノ判然スルトキ被保險者ハ保險者ノ求メニ依リテハ保險者ニ於テ保險額ノ支拂ノ爲メ第八百六十三條ニ從ヒ自己ニ歸スル權利ヲ拋棄シタルニ於テハ保險額ヲ辨償シ及一部損害ヲ受ケタルトキハ其一部損害ノ賠償ヲ以テ満足スヘキモノトス

第八百七十條 放讓供述ハ制限又ハ設若ナクシテ之ヲナスニアラサレハ其効力ナク及保險セラレタル全物件ニ及ホスヘキモノトス但其物件災難ノ時航海ノ危険ヲ被リ易カリシトキニ限ル

但全價額ヲ保險セザリシトキ被保險者ハ保險セラレ

タル物件ノ割合部分ニ限り放讓スルノ義務アルモノトス

放讓供述ハ之ヲ取消スコトヲ得ス

第八百七十一條 放讓供述ハ其憑據トナル事實ノ確定セサルトキ又ハ其供述ヲ通知スルトキ既ニ存立セサルトキハ法律上効力ナキモノトス但放讓供述ハ以前ニ生シタルニ於テハ放讓權ヲ與ヘザリシ狀況後日生スルトキト雖雙方ニ對シ効力アルモノトス

第八百七十二條 放讓供述ニ依テハ放讓シタル物件ニ關シ被保險者ノ有セシ總テノ權利保險者ニ移轉スルモノトス

被保險者ハ保險者ニ對シ放讓供述ノトキ放讓シタル

物件ニ附着スル物權ニ付テノ保證ヲナスヘキモノト
 ス但物權保險契約ニ從ヒ保險者ニ於テ責任ヲ有セシ
 危険ニ憑據スルトキハ此限ニアラス
 船舶ヲ放讓スルトキハ災難ノ生シタル航海ノ純運賃
 ニシテ放讓供述ノ後始メテ運賃ヲ得ヘキ部分ニ限り
 船舶ノ保險者ニ歸スルモノトス運賃ノ此部分ハ里程
 運賃ヲ檢出スルニ付キ現行スル原則ニ從ヒ之ヲ計算
 スルモノトス
 前項ニ依リ被保險者ニ對シ生シタル喪失ハ運賃ヲ獨
 立シテ保險シタルトキハ其運賃ノ保險者之ヲ擔當ス
 ヘキモノトス

第八百七十三條

保險額ノ支拂ハ放讓ヲ辯明スル爲メ

ノ證書ヲ保險者ニ交付シ及之ヲ審査スルニ付テノ相
 當ノ期限經過シタル後初メテ之ヲ求ルコトヲ得ルモ
 ノトス船舶失踪シタルカ爲メ放讓スルトキハ船舶出
 發港ヲ離レタル時ニ付テノ信認スヘキ證書及失踪期
 限間到達港ニ船舶ノ到着セサルコトニ付テノ信認ス
 ヘキ證書モ亦其交付スヘキ證書ニ屬スルモノトス
 被保險者ハ放讓供述ノ際其ナスコトヲ得ル限りハ保
 險者ニ對シ放讓シタル物件ニ付キ他ノ保險ヲ受ケタ
 ルヤ及其種類ヲ通知シ及船舶書入負債又ハ其他ノ義
 務其物件ニ附着スルヤ及其種類ヲ通知スルノ義務ア
 ルモノトス其通知ヲナサ、ルトキ保險者ハ後日之ヲ
 ナスマテ保險額ノ支拂ヲ拒ムコトヲ得支拂期限ヲ契

約シタルトキハ其期限ハ後日其通知ヲナシタル時限
ヲ以テ始マルモノトス

第八百七十四條 被保險者ハ放讓供述後ト雖保險セラ
レタル物件ヲ救助シ及大損失ヲ防止スル爲メ第八百
二十三條ノ規定ニ從ヒ注意スルノ義務ヲ有シ特ニ保
險者自己ニ其處分ヲナスヲ得ルマテハ注意スルノ義
務アルモノトス

被保險者喪失シタリト看做サレタル物件再度現出シ
タルコトヲ知了スルトキハ其旨ヲ直ニ保險者ニ通知
シ及保險者ノ求メニ依リテハ之ニ對シ其物件ヲ得有
シ又ハ賣却スル爲メ必要ナル救助ヲナスヘキモノト
ス

其費用ハ保險者之ヲ辨償スヘキモノトス又保險者ハ
被保險者ノ求メニ依リ之ニ相當ノ前拂ヲナスヘキモ
ノトス

第八百七十五條 被保險者ハ保險者ニ於テ放讓ノ正當
ナルコトヲ承認スルトキハ其求メニ依リ其費用ヲ以
テ第八百七十二條ニ從ヒ放讓供述ニ依テ生シタル權
利ノ移轉ニ付テノ公證ヲ得タル承認證書(放讓證書)ヲ
之ニ交付シ及放讓シタル物件ニ關スル證書ヲ引渡ス
ヘキモノトス

第八百七十六條 船舶ノ一部損害ニアリテ其損害ハ第
七百十一條及第七百十二條ニ從ヒ檢出スヘキ修復費
用ノ額ナリトス但其費用ハ被保險者ノ負擔ニ歸スル

損傷ニ關スル部分ニ限ル

第八百七十七條 第四百九十九條ニ規定シタル方法ヲ以テ船舶ノ修復不能又ハ修復無益第四百四十四條ヲ確定シタルトキハ被保險者ハ保險者ニ對シ船舶又ハ破船ヲ公賣スルノ權アルモノトス公賣ノ場合ニ於テ其損害ハ純賣得金ト保險價額トノ差額ナリトス其擔當シタル危險ハ保險者ニ對シテハ船舶又ハ破船ノ公賣ヲ以テ始メテ終ルモノトス又保險者ハ代價ノ收入ニ付キ責任ヲ有ス船舶ノ修復無益ヲ檢出スル爲メ必要ナル損傷ヲ受ケサル狀況ノ價額ヲ確定スルニ方リテハ其保險價額ハ評定シタルト否トヲ問ハス之ヲ度外視スルモノトス

第八百七十八條 修復ノ着手ハ被保險者ニ於テ其過失ナクシテ知了セザリシ重大ノ損害ヲ後日ニ至リ發見スルトキハ前條ニ於テ被保險者ニ與ヘタル權利ノ執行ヲ妨ケサルモノトス被保險者後日ニ至リ其權利ヲ使用スルトキハ保險者ハ船舶ヲ賣却スルニ方リ修復ノ爲メ多額ノ賣得金ヲ得タル部分ニ限り既ニ支出シタル修復費用ヲ特ニ補償スヘキモノトス

第八百七十九條 損傷ヲ受ケテ到達港ニ到着シタル荷物ニアリテハ其荷物此港ニ於テ損傷シタル狀況ニテ現ニ有スル總價額ト損傷ヲ受ケサル狀況ニ於テ有スヘカリシ總價額トヲ比較シテ其荷物ノ價額ノ百分ノ

幾部ヲ喪失シタルヤヲ檢出スヘキモノトス其保險價額ノ百分ノ幾部ヲ以テ損害額ト看做スヘシ其荷物損傷ヲ受ケタル狀況ニ於テ有スル價額ノ檢出ハ公賣ヲ以テ之ヲナス又保險者ノ承諾アルトキハ評定ヲ以テ之ヲナスモノトス其荷物損傷ヲ受ケサル狀況ニ於テ有スヘカリシ價額ノ檢出ハ第六百十二條第一項及第二項ノ規定ニ從ヒ之ヲナスモノトス其他保險者ハ檢視費用、評定費用及賣却費用ヲ擔當スヘキモノトス

第八百八十條 航海中荷物ノ一部ヲ喪失シタルトキ其損害ハ荷物ノ價額ノ百分ノ幾部ヲ喪失シタル額ニ當ル保險價額ノ百分ノ幾部ナリトス

第八百八十一條 航海中災難ノ爲メ荷物ヲ賣却シタルトキ其損害ハ運賃、關稅及賣却費用ヲ引去リタル荷物ノ純賣得金ト其荷物ノ保險價額トノ差額ナリトス其擔當シタル危險ハ保險者ニ對シテハ荷物ノ賣却ヲ以テ始メテ終ルモノトス又保險者ハ代價ノ收入ニ付キ責任ヲ有ス

第八百三十八條ヨリ第八百四十二條マテノ規定ハ本條ノ規定ニ依テ變更ヲ受ルコトナシ

第八百八十二條 運賃ノ一部喪失ニアリテ其損害ハ契約シタル運賃ノ喪失部分ナリトシ其契約ナキトキハ慣例上運賃ノ喪失シタル部分ナリトス
運賃ヲ評定シ及其評定額第七百九十七條第四項ノ規

定ニ從ヒ保險者ノ賠償スヘキ損害ニ付キ標準トナル
トキ其損害ハ契約又ハ慣例上運賃ノ百分ノ幾部ヲ喪
失シタル額ニ當ル評定額ノ百分ノ幾部ナリトス

第八百八十三條 荷物到着シタル後豫期スル想像利益
又ハ手數料ニアリテ其損害ハ其荷物損傷ヲ受ケタル
狀況ニ於テ到着スルトキハ第八百七十九條ニ從ヒ檢
出スヘキ損害ニシテ其荷物ノ保險價額ノ百分ノ幾部
ニ當ル想像利益又ハ手數料トシテ保險セラレタル額
ノ百分ノ幾部ナリトス
荷物ノ一部到達港ニ到着セサルトキ其損害ハ到達港
ニ到着セザリシ荷物ノ一部ノ價額ニシテ總荷物ノ價
額ノ百分ノ幾部ニ當ル想像利益又ハ手數料トシテ保

險セラレタル額ノ百分ノ幾部ナリトス

想像利益ノ保險ニアリテ其荷物ノ到着セザリシ部分
ニ關シテ第八百六十四條ノ要件存在スルトキハ其損
害ヨリ同條ニ掲ケタル剩餘ヲ引去ルモノトス

第八百八十四條 船舶書入金及海難損失金ニアリテ其
損害ハ一部喪失ノ場合ニ於テハ其書入セラレ又ハ海
難損失金ヲ交付セラレタル物件後日ノ災難アルニ依
リ船舶書入金又ハ海難損失金ニ引當ルニ足ラサルカ
爲メ生スル不足額ナリトス

第八百八十五條 保險者ハ全價額ノ保險ナリシトキハ
第八百七十六條ヨリ第八百八十四條マテニ從ヒ計算
スヘキ損害ヲ全ク補償スヘキモ第八百四條ノ規定ニ

抵觸セサルモノトス全價額ノ保險ニアラサリシトキ
ハ第七百九十六條ニ從ヒ其損害ノ割合部分ノミヲ補
償スヘキモノトス

第六節 損害ノ支拂

第八百八十六條 被保險者ハ損害ノ賠償ヲ要求スル爲
メ損害計算書ヲ保險者ニ交付スヘキモノトス
被保險者ハ同時ニ充分ナル證書ヲ以テ保險者ニ對シ
左ノ件々ヲ詳明スヘキモノトス

第一 自己ノ利益

第二 保險セラレタル物件海上ノ危險ニ罹リタル

コト

第三 請求權ノ憑據トナル災難

第四 損害及其範圍

第八百八十七條 他人ノ計算ノ爲メニスル保險ニアリ
テハ其他被保險者ハ契約ヲ取結フ爲メ保險依頼人ニ
囑託ヲ與ヘタルコトニ付キ詳明スヘキモノトス囑託
ナクシテ保險ヲ取結ヒタルトキ(第七百八十六條)被保
險者ハ自己ノ利益ノ爲メ保險ヲ受ケタルコトノ判然
スル狀況ヲ詳明スヘキモノトス

第八百八十八條 充分ナル證書ト看做スヘキモノハ總
テ商ヒ交通ニ於テ特ニ他ノ證據ヲ得ルニ困難ナルカ
爲メ通常不服ヲ唱ヘサル證書ニシテ特ニ左ニ掲ルモ
ノナリトス

第一 利益ヲ證明スルニハ

船舶ノ保險ニアリテハ通常ノ所有權證書
荷物ノ保險ニアリテハ代價表又ハ運送狀但
其旨趣ニ從ヒ被保險者荷物ニ付キ處分ヲナ
スノ權アリト認ルモノニ限ル
運賃ノ保險ニアリテハ船舶貸借證書及運送
狀

第二 荷物ノ積込ヲ證明スルニハ運送狀

第三 災難ヲ證明スルニハ海難具狀書及船舶日記

(第四百八十八條及第四百九十四條)分取ノ場合ニ
於テハ分取裁判所ノ判決書失踪ノ場合ニ於テハ
船舶出發港ヲ離レタル時ニ付テノ信認スヘキ證
書及失踪期限間到達港ニ船舶ノ到着セザルコト

ニ付テノ信認スヘキ證書

第四 損害及其範圍ヲ證明スルニハ損害ヲ檢出ス

ル地ノ法律又ハ慣例ニ適スル檢視評定及公賣ノ
證書并ニ鑑定人ノ費用ニ付テノ鑑定書其他其ナ
シタル修復ニ付テノ受取證アル計算書及其他其
ナシタル支拂ニ付テノ受取證書但船舶ノ一部損
害ニアリテハ(第八百七十六條第八百七十七條)檢
視及評定ノ證書并ニ費用ニ付テノ鑑定書ハ損耗
古舊腐朽又ハ蠹蝕ニ依テ生シタル損害アルトキ
ハ其損害ヲ充分ニ省キ及同時ニナスコトヲ得ル
限リハ平常官任セラレタル鑑定人又ハ其地ノ裁
判所又ハ本國領事ノ特任シタル鑑定人其裁判所

又ハ領事ナキトキ又ハ其助力ヲ受ルコト能ハサルトキハ他ノ官署ノ特任シタル鑑定人ヲ立會ハシメタルトキニ限り充分ナルモノトス

第八百八十九條 訴訟ノ場合ニ於テモ亦第八百八十八條ニ掲ケタル證書ニハ通例特別ノ狀況ニ依リ嫌疑ヲ生セサルトキニ限り證據力ヲ與フヘキモノトス

第八百九十條 被保險者ニ於テ第八百八十六條ニ掲ケタル狀況ノ全部又ハ一部ノ證明ヲ免ル、契約ハ其効力アルモノトス但反對ヲ證明スヘキ被保險者ノ權理ヲ妨ルコトナシ

荷物ノ保險ニアリテ運送狀ヲ調製スヘカラサルコトニ付キナシタル契約ハ積込ノ證明ノミヲ免レシムル

モノトス

第八百九十一條 他人ノ計算ノ爲メニスル保險ニアリテ保險依頼人ハ被保險者ノ委任狀ヲ差出スコトナキモ保險契約ニ於テ被保險者ノ爲メ契約シタル權利ニ付キ處分ヲナシ并ニ保險金ヲ取立テ及出訴スルノ權アルモノトス但此規定ハ保險證書ヲ交付シタル場合ニ於テハ保險依頼人其證書ヲ差出スコトキニアラサレハ之ヲ適用セス

囑託ナクシテ保險ヲ受ケタルトキ保險依頼人ハ保險金ヲ取立又ハ出訴スルニ付キ被保險者ノ承諾アルコトヲ要ス

第八百九十二條 保險證書ヲ交付シタル場合ニ於テ保

險者ハ被保險者ヨリ其證書ヲ差出ストキハ之ニ保險金ヲ支拂フヘキモノトス

第八百九十三條 保險依頼人ハ保險セラレタル物件ニ付キ被保險者ニ對シ自己ニ有スル請求ヲ辨償セラレタル前ニ保險證書ヲ被保險者又ハ其債主又ハ倒産額ニ引渡スノ義務ナキモノトス

損害ノ場合ニ於テ保險依頼人ハ此請求ニ付テハ保險者ニ對シ生シタル要求ヨリ辨償ヲ受ルコトヲ得及保險金ヲ取立テタル後ハ特ニ被保險者及其債主ニ先タテ其保險金ヨリ辨償ヲ受ルコトヲ得ルモノトス

第八百九十四條 保險者ハ保險依頼人尙ホ保險證書ヲ現有スル間ニ於テ被保險者又ハ其債主又ハ倒産額ニ

支拂ヲナスニ依リ又ハ是等ノ者ト契約ヲ取結フニ依リ第八百九十三條ニ掲ケタル保險依頼人ノ權利ヲ妨ルトキハ之ニ對シ責任ヲ有スルモノトス
保險者保險證書ニ依リ他人ニ與ヘタル權利ニ付キ契約ヲ取結ヒ又ハ保險證書ヲ返付セシムルコトナク又ハ之ニ必要ノ附記ヲナスコトナクシテ保險金ヲ支拂ニ依リ其他人ニ對シ責任ヲ有スルノ程度ハ民法ノ規定ニ從ヒ之ヲ定ルモノトス

第八百九十五條 保險者保險金ノ支拂ヲ請求セラレトキハ他人ノ計算ノ爲メニスル保險ニアリテハ保險依頼人ニ對シ自己ニ有スル要求ト差引ヲナスコトヲ得サルモノトス

第八百九十六條 被保險者ハ既ニ生シタル災難ニ依リ自己ニ有スル損害賠償ノ請求ノミナラス亦後來ノ損害賠償ノ請求ヲ他人ニ讓渡スノ權アルモノトス指名ナル保險證書ヲ交付シタルトキ其證書ハ裏書ヲ以テ之ヲ讓渡スコトヲ得此裏書ニ關シテハ第三百一條第三百三條第三百五條ノ規定ヲ適用ス他人ノ計算ノ爲メニスル保險ニアリテ第一讓渡ノ効力ヲ有セシムルニハ保險依頼人ノ裏書ヲ以テ足レリトス

第八百九十七條 災難ノ通知以來二月ヲ經過シタル後損害計算書第八百八十六條ヲ被保險者ノ過失ナクシテ未ダ差出サ、ルモ概畧ノ檢出ニ依リ少ナクモ保險者ノ負擔ニ歸スル額ヲ確定シタルトキ保險者ハ其額

ヲ自己ノ負債ニ算入シテ假ニ支拂フヘキモ保險金ノ支拂ニ付キ契約シタル期限アルトキハ其期限ノ經過前ニ其支拂ヲナスコトヲ要セサルモノトス其支拂期限損害計算書ヲ保險者ニ交付シタル時限ト共ニ始マルヘキトキハ本條ノ場合ニ於テハ保險者ニ假檢出書ヲ交付シタル時ヨリ起算ス

第八百九十八條 保險者ハ左ノ前拂ヲナスヘキモノトス

第一 海難損失ノ場合ニ於テハ保險セラレタル物件ノ救助維持又ハ回復ノ爲メ必要ナル支出ニ付キ後日確定スヘキ自己ノ負債ニ算入シテ自己ノ負擔ニ歸スヘキ額ノ三分二

第二 船舶又ハ荷物ノ押取ニアリテハ自己ノ負擔
スヘキ取戻訴訟ノ費用ノ全額但其費用ヲ要スル
トキニ限ル

第七節 保險ノ解止及保險料ノ拂戻

第八百九十九條 保險ノ關スル航海ノ全部又ハ一部ヲ
被保險者ニ於テ止ムルトキ又ハ被保險者ノ行爲ニア
ラスシテ保險セラレタル物件ノ全部又ハ一部保險者
ノ擔當シタル危險ニ罹ラサルモノナルトキハ保險料
ノ全額又ハ保險者ニ歸スル補償ニ達スルマテ保險料
ノ割合部分ヲ返付セシメ又ハ收置スルコトヲ得ルモ
ノトス(保險解約)

其補償(保險解約料)ハ他ノ契約又ハ保險ノ地ニ於テ慣

例ナキトキニ限り保險額ノ全部又ハ割合部分ノ百分
一ノ半分トシ保險料保險額ノ百分一ニ達セザルトキ
ハ保險料ノ全額又ハ割合部分ノ半額ナリトス

第九百條 保險保險セラレタル利益ナキカ爲メ(第七百
八十二條)又ハ超過保險第七百九十條)又ハ重保險第七
百九十二條)ノ爲メ無効ニシテ保險依頼人契約取結ノ
際及他人ノ計算ノ爲メニスル保險ノ場合ニ於テ被保
險者モ亦囑託ヲナス際良心ナルトキハ保險料ハ前條
ト均ク其記載シタル保險解約料ニ達スルマテ之ヲ返
付セシメ又ハ收置スルコトヲ得ルモノトス

第九百一條 第八百九十九條及第九百條ノ適用ハ保險
契約通知義務ノ背反ニ依リ又ハ他ノ理由ニ依リ無効

トナルカ爲メ妨ケラレサルノミナラス保險者其無効ナルニ拘ハラズ保險料全額ノ請求ヲ有シタリシトキ亦妨ケラレサルモノトス

第九百二條 保險解約ハ保險者ニ對シ既ニ危險ノ始マリタルトキ亦之ヲ許スモノトス

第九百三條 保險者支拂不能トナリタルトキ被保險者ハ任意ニ契約ヲ解除シ及保險料全額ヲ返付セシメ又ハ收置スルノ權ヲ有シ又ハ保險者ノ費用ヲ以テ第七百九十三條ニ從ヒ更ニ保險ヲ受ルノ權ヲ有スルモノトス但此權ハ被保險者契約ヲ解除シ又ハ更ニ保險ヲ受ケタル前ニ保險者ノ義務ヲ盡サシムルニ付キ充分ナル保證ヲナサシメタルトキハ之ヲ有セス

第九百四條 保險セラレタル物件ヲ賣讓スルトキ保險契約ニ從ヒ後來ノ災難ニ關シテモ亦被保險者ノ有スヘキ權利ハ之ヲ其得有者ニ讓渡スコトヲ得其得有者ハ保險者ニ對シ其賣讓ヲナサ、リシ場合ニ於テ被保險者自己ニ請求ヲナシタリシト同一ノ請求ヲナスノ權アルモノトス

保險者ハ其賣讓ヲナサ、リシニ於テハ生セザリシ危險ニ付テノ責任ヲ免ル、モノトス
保險者ハ直接ニ得有者ニ對スル辯駁及反對要求ヲナスコトヲ得ルノミナラス被保險者ニ對シ申立ルコトヲ得タリシ辯駁及反對要求ヲモ亦ナスコトヲ得ルモノトス但保險契約ヨリ生スル辯駁及反對要求ヲナス

ヲ得ルハ讓渡ノ通知前既ニ生シタルモノニ限ル
 裏書ヲ以テナシタル指名ノ保險證書ノ讓渡ノ法律上
 効力ハ前項ノ規定ニ依テ變更ヲ受ルコトナシ
 第九百五條 第九百四條ノ規定ハ船舶持部ノ保險ノ場
 合ニ於テモ亦之ヲ適用スルモノトス
 船舶自己ヲ保險シタルトキ同條ノ規定ハ航海中ニ船
 舶ヲ賣讓シタルトキニ限り之ヲ適用シ其航海ノ始終
 ハ第八百二十七條ニ從ヒ定マルモノトス船舶ヲ定期
 ナ以テ又ハ數航海ノ爲メ(第七百六十條)保險シタルト
 キ其保險ハ航海中ニ賣讓シタル場合ニ於テハ最近ノ
 到達港ニ於テ船舶ノ荷卸ヲナスマテニ限り繼續スル
 モノトス(第八百二十七條)

第十二章 期滿得免

第九百六條 第七百五十七條ニ掲ケタル要求ハ一年ヲ
 以テ期滿得免トナルモノトス但左ニ掲ル要求ニアリ
 テ其期滿得免期限ハ二年ナリトス

第一 職務及給料契約ヨリ生スル船舶乗組員ノ要
 求但喜望峯又ハ「カッフホールン」以東ニ於テ解雇
 シタルトキニ限ル

第二 船舶ノ衝突ヨリ生シタル損害賠償ノ要求

第九百七條 前條ニ從ヒ生スヘキ期滿得免ハ船主又ハ
 船舶乗組員ニ對シ債主ニ屬スル身上請求ニモ亦及フ
 モノトス

第九百八條 期滿得免ハ左ノ如ク始マルモノトス

第一 船舶乗組員ノ要求(第七百五十七條第四)ニ付テハ職務關係又ハ給料關係ノ終ル日ノ經過ヲ以テ始まり及之ヨリ以前ニ訴訟ヲ提起スルコトヲ得及之ヲ許シタル場合ニ於テハ其要件ノ生スル日ノ經過ヲ以テ始マルモノトス但先拂及一部支拂ヲ求ルノ權ハ期滿得免ノ起始ニ關係スルコトナシ

第二 荷物及旅ヒ荷物ノ損傷又ハ引渡淹滞ヨリ生スル要求(第七百五十七條第八及第十)及海難大損失ノ出金ヨリ生スル要求(第七百五十七條第六)ニ付テハ其荷物ノ引渡ヲナシタル日ノ經過ヲ以テ始まり荷物ヲ引渡サ、ルニ依リ生スル要求ニ付

テハ其荷物ノ引渡ヲナスヘキ港ニ船舶ノ達スル日ノ經過及其港ニ達セサル場合ニ於テハ關係者其旨及損害ヲ最初ニ知了シタル日ノ經過ヲ以テ始マルモノトス

第三 船舶乗組員ノ過失ニ依リ生スル本條第二ニ屬セサル要求(第七百五十七條第十)ニ付テハ關係者其損害ヲ知了シタル日ノ經過ヲ以テ始マルモノトス但船舶ノ衝突ヨリ生スル損害賠償ノ要求ニ付テハ其衝突ヲ生シタル日ノ經過ヲ以テ始マル

第四 總テ其他ノ要求ニ付テハ要求ノ支拂滿期トナリタル日ノ經過ヲ以テ始マルモノトス

第九百九條 其他運賃及總テノ附屬手數料、猶豫金、立替
 へタル關稅及其他ノ立替、船舶書入金、海難大損失ノ出
 金及保護費用、救助費用ニ付キ、荷物ニ附着スル要求并
 ニ積荷關係者ニ對スル總テノ身上ノ請求及渡航賃ニ
 付テノ要求ハ一年ヲ以テ期滿得免トナルモノトス
 其期滿得免ハ海難大損失ノ出金ニ付テハ出金ノ義務
 ノル荷物ヲ引渡シタル日ノ經過ヲ以テ始マリ其他ノ
 要求ニ付テハ其要求ノ支拂滿期トナリタル日ノ經過
 ヲ以テ始マルモノトス

第九百十條 保險契約ヨリ生スル保險者及被保險者ノ
 要求ハ五年ヲ以テ期滿得免トナルモノトス
 其期滿得免ハ保險セラレタル航海ヲ終リタル年ノ最

終日ノ經過ヲ以テ始マリ及定期ノ保險ニアリテハ保
 險期限ノ終ル日ノ經過ヲ以テ始マルモノトス 船舶失
 踪シタルトキ其期滿得免ハ失踪期限ノ終ル日ノ經過
 ヲ以テ始マルモノトス

第九百十一條 第九百六條ヨリ第九百十條ニ從ヒ期滿
 得免トナリタル要求ハ他ノ要求ノ生スル時既ニ期滿
 得免トナリシトキハ差引ヲ以テ之ヲ申立テ又ハ其他
 反對要求トシテ申立ルコトヲ得サルモノトス

商法正誤
百二十丁 三行目 (産財ハ(財産ノ誤
百七十一丁 二行目 全七行目 (其余ハ(其餘ノ誤
六百二十三丁 七行目 (生シタルノ下(ニ)ノ一字ヲ脱ス

明治十九年十月十四日版權免許
全 年十二月 出版 (定價金壹圓二拾五錢)

譯者 東京府士族 山脇 玄
東京府麴町區土手
三番町七番地

同 山口縣平民 今村 研介
山口縣四谷區四谷左
門町六十六番地

出版人 山口縣士族 益森 英亮
同府麴町區平川町
三丁目十六番地

賣捌所

島屋一介

東京府日本橋區
兩國吉川町六番地

博聞社

同府京橋區銀座
四丁目一番地

丸善商社書店

同府日本橋區通
三丁目

巖々堂

同府神田區淡路町
一丁目一番地

集英堂

同府日本橋區通旅
籠町十一番地

博聞分社

大坂府備後町
四丁目四番地

獨逸學協會出版書目

平塚定二郎編輯

一 獨逸文法楷梯

グナイスト氏原著

小松濟治譯

一名法治國論

前篇定價金三十五錢
後篇定價金三十錢

一冊 定價金四拾五錢

ラフエリニール氏纂輯

曲木如長譯 井上毅 荒川邦藏校閱

全壹冊 定價金貳拾錢

シユールナエ氏原著

木下周一譯

全六冊 一冊定價金四錢五厘

フオン、スマイン氏原著

荒川邦藏譯

全壹冊 定價金六錢

一國 理 論
ブルンナエリ氏原著 平田東助譯

(第二版)

第一卷定價金四拾錢
第二卷定價金三拾五錢 後卷續刻

一 亨漏生國法論
シユールナエ氏原著 木下周一 荒川邦藏共譯

第一第二第三卷定價各金四拾五錢第
四卷定價金七拾五錢第五第六第七卷
各定價金四拾五錢第八第九第十第十一
卷各定價金三拾五錢

獨逸國博士スタージェルマン原著 和田維四郎譯

一 普布利特隣大王農政要略

(第二版)

全壹冊 定價金五十錢

驛遞局翻譯

一 獨逸郵便必携

全五冊一冊定價各金貳拾錢

フオン、スタイン氏原著 木下周一山脇玄共譯
 一兵制學 全三冊 壹冊定價各金貳拾錢

サンデル氏原著 長與專齋校閱 柴田承桂譯
 一公衆衛生論 全壹冊 定價金貳拾錢

ブルンチユリ氏原著 中根重一譯
 一政治學 第一卷定價四拾錢第二第三卷定價各金三拾錢第四第五卷定價各金四拾錢後卷續刻

山脇玄校閱 飯山正秀纂譯
 一獨逸法律政治論纂 第一第二第三第四卷定價各金貳拾錢

ブルンチユリ氏原著 山脇玄飯山秀共譯
 一萬國戰爭條規 一卷定價金貳拾錢

リヨースレル氏演吾 荒川邦藏筆記
 一獨逸學ノ利害及國家ニ對スルノ得失 全壹冊 定價金六錢

ヒユード、グレイ原著 平田東助校閱 中根重一譯
 一獨逸學ノ政治典 第一卷定價金廿五錢第二第三卷定價金三拾錢第四卷金貳拾五錢第五卷金五十錢

グロート氏田中稻城合著
 一獨逸讀本 定價金四拾錢

ラフエリニール纂輯 山木如長重譯
 一巴威里憲法 全壹冊定價金廿五錢

驛遞局翻譯
 一獨逸貯金論 全壹冊定價金四拾錢

リヨースレル氏述獨逸學協會翻譯
 一佛國革命論 全壹冊定價金拾八錢

山脇玄 今村研介共譯
 一獨逸裁判所編制法 (第二版) 全壹冊 定價金貳拾錢

山脇玄 今村研介共譯
 一獨逸刑法 (第二版) 全壹冊 定價金四拾錢

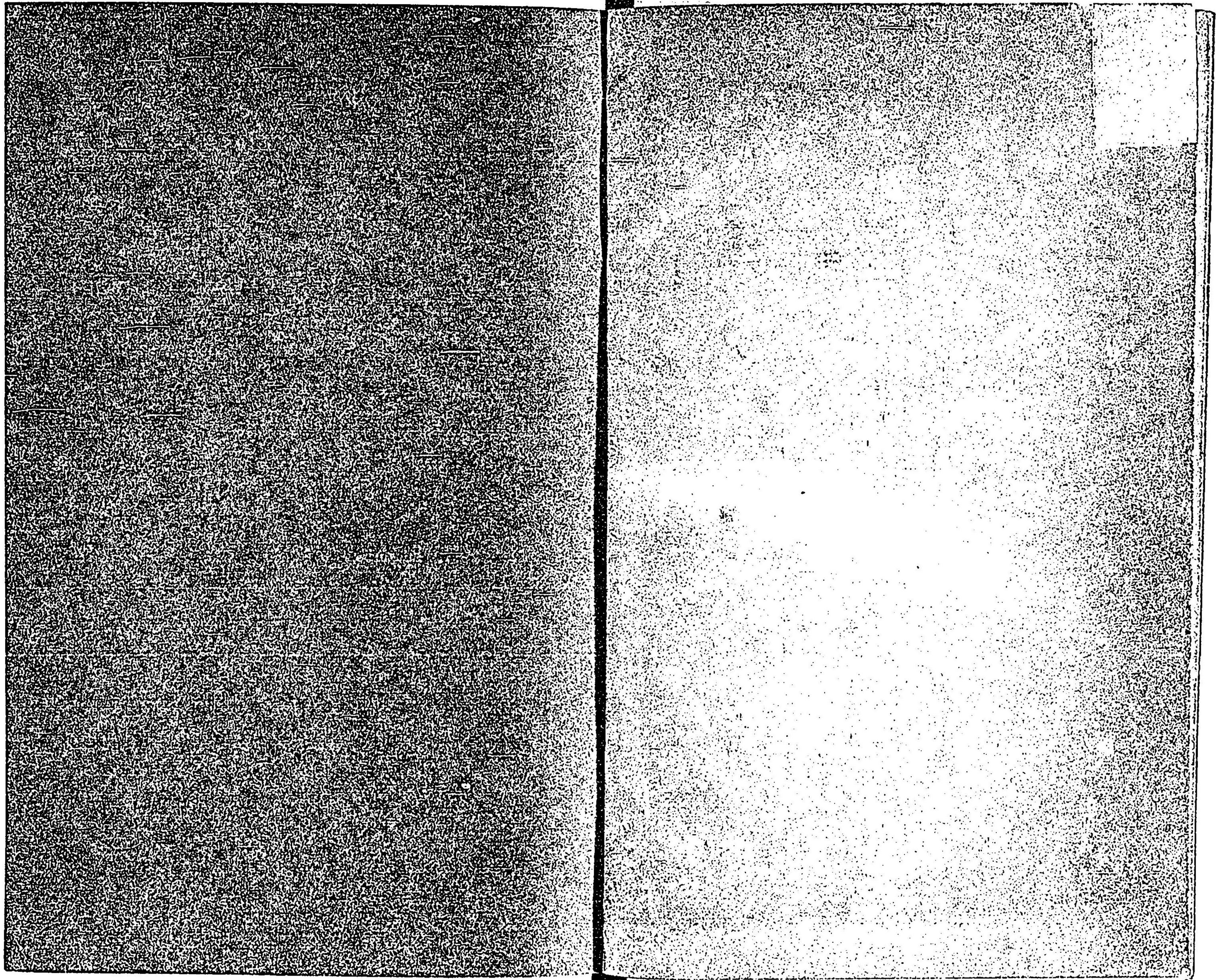
山脇玄 今村研介共譯
 一獨逸治罪法 (第二版) 全壹冊 定價金四拾五錢

山脇玄 今村研介共譯
 一獨逸訴訟法 全壹冊 定價金壹圓拾錢

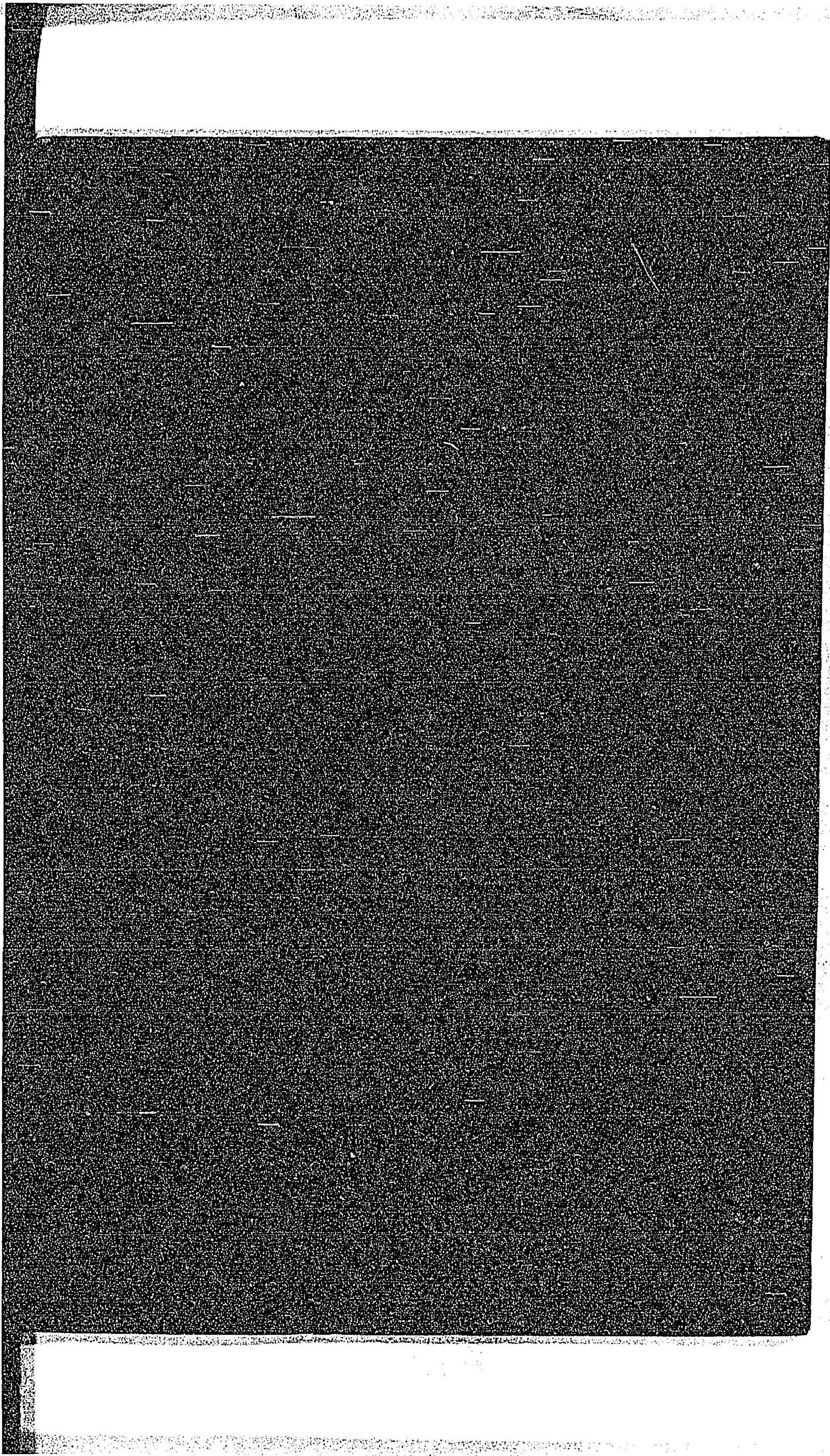
ライトゲン氏講述 獨逸學協會譯
 一行政學講義錄 (第二版) 定價金壹圓

ワシネル氏著 澄藏 平塚定二郎共譯
 一農業經濟論 第一冊 定價金六十五錢
 以下續刻

山脇玄 今村研介共譯
 一獨逸商法 全壹冊 定價金壹圓三十五錢



36
92



36
92

